

# 100年の信頼、次の100年へ 挑戦し続ける医療で、地域医療の中核を担う



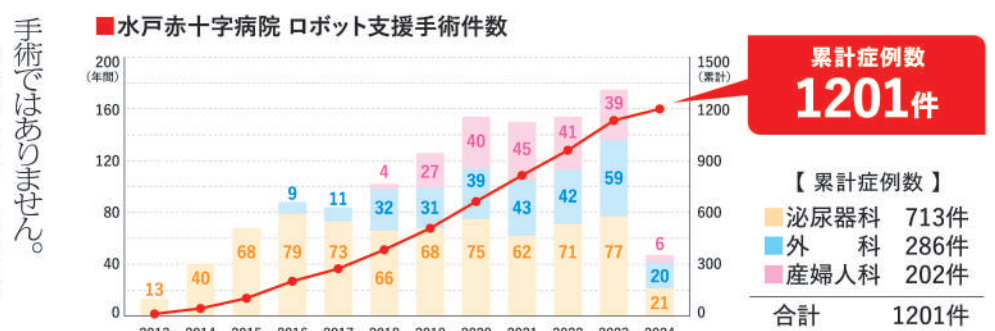
本年4月1日、院長に就任した野澤です。当院は昨年6月に創立100周年を迎えました。次の100年に向け、「地域に愛され、信頼される病院」を目指し、赤十字の医療機関としての使命を果たすべく、一層の機能の充実を図ってまいります。

院長 野澤 英雄

## ロボット支援手術を 黎明期から開始

当院は1923年に開設され、昨年100周年を迎えました。県のがん診療指定病院として年間1000人以上のがん患者の治療をしており、時代とともに変化する医療ニーズに対応しながら、中でも外科、産婦人科、泌尿器科の領域では茨城県央地域の中核病院として役割を果たしてまいりました。

2000年代前半には、手術支援ロボットのテストドライブを行い、精密かつ操作が容易であることを実感しました。導入の目的には医師確保や集患もありましたが、それ以上にロボット支援手術は将来的に標準治療になると考え、2013年に導入を実現し、ロボット支援前立腺全摘除術を開始しました。



手術ではよく「神の手」や「匠の技」といわれ、患者さんそれぞれを称賛する風潮がありますが、それが医師や施設に対して不安を招く一因にもなります。そういう職人的なものをなるべく排除して、一定水準に達した医師なら誰でも手術ができる、それがめざすべき医療の姿です。医師間や施設間の技術格差を埋め、患者さんの安心につながるツールの一つがロボット支援手術だと考えています。

**産婦人科**

ロボット支援手術担当分野  
悪性腫瘍全般・臓器脱

杉山 将樹  
産婦人科部長  
[婦人科腫瘍・内視鏡手術・緩和医療・女性医学]

**泌尿器科**

ロボット支援手術担当分野  
泌尿器全般

野澤 英雄  
院長  
[尿路生殖器腫瘍学・男性不妊症・性機能障害]

ロボット支援手術担当分野  
結腸・直腸

立川 伸雄  
下部消化管外科副部長  
[消化器外科一般]

ロボット支援手術担当分野  
上部消化管

清水 芳政  
上部消化管外科部長 / 放射線科部長  
医療社会事業部長 / 教育研修推進室長  
[消化器外科一般]

ロボット支援手術担当分野  
直腸

捨田利 外茂夫  
下部消化管外科部長  
災害・国際協力対策室長  
[消化器外科一般]

**外科**

水戸赤十字病院  
ロボット支援手術執刀医

**新しい治療法と働き方改革で  
地域医療の未来を切り開く**

私が赴任した当初、泌尿器科の外来患者数は1日30人ほどで、がん患者もほとんどおりませんでした。前立腺肥大症の新規治療法を次々と導入し、診療体制を強化してきました。2003年には、全国で数施設しか行っていない経尿道的ホルミニウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）を開始。これはHoLEPが前立腺肥大症手術の中心になると考えたからです。また、患者さんに治療法を選んでもらう際、当院で可能な治療法だけを薦めても得力はないので、外科的な治療法で出来るものは全て揃えました。その結果患者数は急増し、前立腺を中心とした泌尿器がんの患者さんも増加しました。

一方で患者さんの急増に伴い、外来のスムーズな運営が難しくなっています。私自身、手術や病棟業務に加え、1日100人ほどの外来患者を診療し、深夜まで診療が続き、これもあります。また手術件数の増加に伴い、術後の経過観察が必要な患者さんも増えてきました。

**地域で医師を育て  
県内へ派遣  
できる病院に**

研修医や若手医師の教育にも力を注いでいます。今年度は当院の初期研修を受けた2人の医師がそのまま残り、泌尿器科が参加する後期研修プログラムへ進みました。同プログラムは大学病院と連携して行われ、研修期間4年のうち本病院で1年間を学べば、残りの3年間は当院で研修が可能です。地域に大学病院がない分、このエリアで働きたいという医師を最初の段階から教育できる病院を目指しています。2人の研修医が残ることで、その道筋が見えてきました。

県北地域の病院からの医師派遣の要請にも、将来的には応えたいと考えています。当科も人員が増えれば各医師のキャリアやポストを考えていく必要があるため、医師派遣はその点でも重要です。

**次の100年へ  
つなげたい**

一般企業でも100年続くのはほんの一握り。歴代の先生方が積み上げてきた地域の信頼や、新しいことに挑戦して前進しようという心構えがなければ継続はできません。地域との信頼関係や挑戦する姿勢を後世につなげていくことが私の使命です。



**茨城県がん診療指定病院**  
手術・放射線治療・化学療法などの複数の治療法を組み合わせた集学的治療や、在宅復帰の支援や終末期のケアなど、幅広いがん治療を行っています。

**地域周産期母子医療センター**  
産婦人科や小児科を始め、関係する医師とスタッフが連携を図り、安心して妊娠・出産できる環境を整えています。

**災害拠点病院**  
災害時に被災者を受け入れ、地域の医療機関の支援を行います。また、災害発生から48時間以内に救護活動を行う災害医療派遣チーム「DMAT」を配備しています。

**日本赤十字社** Japanese Red Cross Society

水戸赤十字病院

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3丁目12番48号 ☎029-221-5177

**診療科目/25科目**

- 内科
- 呼吸器内科
- 消化器内科
- 循環器内科
- リウマチ科
- 血液内科
- 脳神経内科
- 小児科
- 外科
- 消化器外科
- 乳腺外科
- 血管外科
- 整形外科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- リハビリテーション科
- 放射線科
- 麻酔科(根本英徳)
- 病理診断科
- 緩和ケア内科